

あらぐさニュース

2021.04

Vol.81

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

第3クローバーハウスオープン

上尾市上野の静かな場所に女性7名の3番目のグループホームを開所しました。赤い屋根の平屋の建物で、広々としたリビングの天窓から陽の光が差し込み、暖かい雰囲気です。これで女性ホームが2棟、男性ホームが1棟となりました。

「なかま」の通所は、自主通所が3名・送迎バス利用が4名です。自主通所の「なかま」は、何度か道順やバスの乗り方を練習してしっかり通っています。夕方、「なかま」たちの「ただいま～」という元気な声でとたんに賑やかになります。夕食の様子は、事業所の出来事を話したりテレビのアニメや歌番組を見たりして明るい雰囲気です。

ホーム職員は5名です。個人の生活ペースを尊重し安全で明るく健康な生活が送れるように「なかま」の状況を共有し職員一同が力を合わせていきたいと思っています。

第3クローバーハウスの北側には、(社福)「ほっと未来SOUZOU舎」が運営する多機能型事業所が4月から開所しています。「普段の活動はもちろん災害時も隣同士協力しあいましょう」と合意しました。長いお付き合いになりますので、助け合っていきたいですね。

現在、敷地の東側は広く空いています。具体化はしていませんが、第4ホーム予定地です。

あらぐさ福祉会は今後も地域に根ざした法人の運営を進めてまいります。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。お近くにいらした際はぜひお立ち寄り下さい。(相良)



第3ホーム

ほっと未来 SOUZOU 舎

新年度を迎えて

新年度になり今年度こそ当たり前の日常を取り戻せるかと期待していましたが、そうは問屋が卸さないとばかりにコロナ感染拡大も第4波を迎えるような状況です。まだしばらくは忍耐の生活が続きそうです。

今、持続可能な社会となるための目標である「SDGs」を様々なところで目にすることが多くなりました。このコロナ感染拡大も人間の自然に対する過度な乱開発が起因しているといわれています。そしてその影響は弱い立場の人に重くのしかかっているということも実感しています。まさに国や私たち一人ひとりが持続可能な社会にするために現在のコロナ禍に真摯に向き合い、どう歩んでいくべきかが迫られているのだと思います。

そんな状況の中ですが、第1面でもお知らせしましたように3月に上尾市上野の地に第3クローバーハウスを無事開所することができました。現在7名の仲間たちが元気にぎやかに暮らし始めております。このことはこのコロナ禍の中、家族・仲間たちにとっては待ちに待った大きな喜びになりました。このホーム開所に当たっては故石塚泰子様やあらぐさ福祉会後援会からの多大な寄付と法人内のグループホーム建設検討委員会をはじめとした家族、役員、職員の尽力の賜物と心より感謝申し上げます。今後は地域の中で安心、安全に過ごしていけるよう努めていきたいと思っております。

国は障害福祉サービス事業所建設の認可に対しては非常に厳しい状況です。いずれの事業でも単独のサービス事業では認可されず多機能性が求められます。今回の第3クローバーハウスもそのような経緯もあり国の認可は受けず、やむを得ず自助努力で自前のホーム建設となりました。

さて、一昨年度から法人内の中・長期検討委員会で「あらぐさ福祉会」の5年、10年先を見通した事業展開などの検討を行ってまいりました。今年の6月には構想が報告できるよう協議を進めているところです。通所事業所建設、グループホーム建設、人材の確保・育成などなど構想は多岐にわたり果たして実現可能なかと不安に思うことも多いです。

しかし、障害の多様化、家族・当事者の高齢化など障害を持った方のニーズは多様化し、待たなしの急を要するケースも増えています。そうしたニーズにどう応えていけるかが求められている中、私たちも仲間たちを中心に据えながら家族、職員、関係者が力を合わせ、知恵を絞って構想の実現に向かっていけるよう努めていきたいと考えております。

今年度も後援会員の皆様の一層のお力添えをよろしくお願いいたします。そして皆様がこのコロナ禍において健やかに過ごされますことを願っております。

理事長 岩淵敦子

後援会のページ

昨年度（2020年度）はコロナの影響で思うような活動ができなかった中、賛助会員を継続して下さった方、新規会員になって下さった方、物品販売のわかめ・昆布を買って下さった方、など大勢の方に助けられ250万円の収益を得ることができ、あらぐさ福祉会本部に寄付することができました。本当にありがとうございました。

今年度も同じ様な状況が続くとは思いますが、色々と配慮しながら活動をしていきたいと思しますので、引き続きご支援ご協力をお願い致します。

あらぐさ福祉会後援会総会

6月19日（土） 午後1時30分～

上尾市文化センター小ホール

中・長期検討委員会で検討した構想についての報告も行います。

映画「夜明け前」上映会

6月17日（木） 午前10時～11時30分（9時30分会場）

上尾市文化センター小ホール 映画協力金499円

座席数に限りがありますので、お早目に雑草までお申し込み下さい。

尚、コロナの状況によっては中止になることもあります。

2020年度賛助会員

2021年1月～3月14日まで

（敬称略・順不同）

松本一恵	遠藤慎司	宮永政子	白石朋子	石井洋子	佐々木春光
田中稔子	嶋田洋子	伊藤彰人	溝辺悦代	岡崎義雄	矢島美代子
三神佳子	関美知子	柳麻由美	曳地雅俊	形浦康之	森岡奈緒子
渡辺繁博	町田金治	田中吉忠	村中重子	並木秀浩	加治屋晴子
桜井郁子	太田宏子	北村淳子	滝澤幸子	武井邦子	鈴木美喜枝
亀井陽子	佐藤勝江	松尾清水	三石裕代	榎本恵美子	平田とよ子
吉村しのぶ	齋藤外志美	大塚真理子	荒川伊津美	相良美哉子	
高橋好治	岩渕敦子	中富英二	形浦泰之	関口恵美子	

*増額やGH設立カンパをして下さった方もいらっしゃいました。本当にありがとうございました。

娘があらぐさに入所して20年！！改めてびっくりしたのと同時に、20年にもなるんだなあ。

20年の中でも一番の出来事は、仲間との別れだったかと思えます。家で気丈にも涙を流さず普通にしている様子に、たまらず「だいじょうぶ？」と。「泣くのを我慢しているからいわないで」と一言。

そしてこの4月ホームに入所することが決まり、親は不安と戸惑いの日々でした。「お母さんだいま～楽しかったよ」と続けてホームの話をしてくれます。その言葉にいつも安心させられます。ですから毎日頑張れと応援するばかりです。

仲里

37年間娘と暮らし、生まれた時から体が弱く病院通いの毎日でしたが、大変なことだけでなく楽しいこともたくさんありました。

グループホームは第2の人生だと思っていますので、ホームは人生の折り返し地点だと思います。ゴールまでには生まれて来てよかったなと思ってくれたら幸いです。あらぐさの職員の方々の面倒見の良さにはいつも感謝感激しています。これからも娘を宜しくお願いします。

島田

たのしい。みんなとごはん
食べるとおいしい。おふろ
きもちいい。

ごはんがめちゃくちゃおいし
い。家のは？→家もだけどね。
階段なくて楽。たのしい。

グループホームの入居を希望していましたが、いざ入居が近づくにつれ不安や心配の毎日でした。入居が始まり娘は週末「楽しい～」と言って帰ってきましたが、本当の親離れ子離れはこれからはできません。娘が楽しく生活できることに感謝しつつ私達も健康に気をつけ頑張らなくてはと思います。

大金

自分でしたらけっこうできた。
カゴもってきたり。お風呂の？
→うん！コース(道)ちがうし。
たのしい。



台所



第3ホームの 楽しいひととき

ユナが生まれてからは毎日が幸せと苦難の日々でした。家族思いで仲間や職員さんたちが大好きな優しい子です。ですがこだわりが強く、自分のことを言葉でうまく表現できないため、思い通りにいかない時は大きな声を出したり物にあたったりしていました。そんなユナをいつも怒ってばかり。寝顔を見ては反省。こんな29年間だったような気がします。

今回ホームに入所が決まり、この子の居場所ができ新たにスタートしたことをとても嬉しく思っています。育った環境、個性も違う仲間と暮らすのは大変なこともあると思います。職員の方々にご指導のもと、仲良く元気に頑張りたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

林

ホーム好き？→きれい。何が楽しい？→わ
かんない。ずーっとホームにいるの？→は
い... (渋々感全面、でも満喫してます！)

今回第3グループホームへ入所することになりました。まだ少し早いかな？と思いましたが、今回を逃すと後は女性用ホームがいつできるかわからない為、長い時間をかけて本人に話してきました。まだ私達親も元気で見てあげることが出来るのにと、何度も思いました。でも病気で寝込んでからでは遅いと思い決心しました。

3月26日より入所してまだ日も浅く、これで良かったか迷いはありますが親も早く子離れしなくてはと思っています。家に居ないことがこんなに寂しいとは思いませんでした。

神田

ホームの感想は？→ない。(みんなとい
るし、折紙するし、時間に入浴するし。
馴染んでます！)

ただいま！おかえり！の声で一日が終わる日々を送ってきた我が家にとって、新しい生活が始まりました。10年前から入所を希望していたので、やっとの思いです。悦子にとってこれからはいろいろな生活の中で勉強になると思います。悦子の底力を信じて成長を楽しみにしています。

第3クローバーハウス建設に多くの方々のご協力をいただきましてありがとうございました。最後に加藤美幸さんが一緒に入所できなかったことがとても残念に思います。

須永

たのしい。何が？→トランプし
た、美穂さんと。ごはんおいしい。

私は第3クローバーハウスに入れたのがとても嬉しかったです。第3ホームは新しく綺麗でリビングが広くて住みやすいです。リビングでは筋トレもできるのでとても嬉しいです。リビングにはテレビがあって皆とみると楽しいです。友達と外でバトミントンができるのでとてもうれしい楽しいです。私はホームが大好きです。

美穂

2021年度 あらぐさの取り組み

2021年度が始まりました。今年度、労働と教育の場「雑草」には新入所者はいませんでした。人数は、36名（生活介護25名 就労継続支援B型11名）でのスタートとなりました。新型コロナウイルスの影響で活動が制限されることもあると思いますが、全員が楽しくやりがいをもって過ごせるよう、さまざまな取り組みを考え、実行していきたいと思っています。

生活介護事業

主に、健康面や体力の維持・向上、生活面での技能の向上を目指していきます。具体的には、丸山公園でのウォーキングや軽運動、室内でのゲームや創作活動、簡単なおやつづくりなどを予定しています。また、季節を感じる取り組みとしてイチゴ狩り、その他ではミニ運動会やボウリング大会などにも取り組みます。利用者にとっては気分のリフレッシュになる楽しい時間です。

就労継続支援B型事業

それぞれの作業の技術をより高められるよう活動します。仕事に取り組むうえでのマナーやルールを学習し、社会見学を行いながら働くことへの意欲も培っていきます。希望があれば、就労に向けた実習も計画します。

菓子作業班

ケーキ作業とクッキー作業に取り組みます。日々、おいしいお菓子づくりに励み、各特別支援学校や上尾市役所等への販売活動をしていきます。販売は、こぱん☆あらぐさと協力して取り組みます。お中元・お歳暮やクリスマス・バレンタイン等、季節商品にも力を入れていきます。

リサイクル作業班

缶プレス作業に取り組みます。利用者は、暑さや寒さ、雨や風にも負けず、たくましく働いています。今年度も利用者たちが生き生きと働くことができるように作業の工夫や安全な環境作りを行っていききたいと思います。

ブリヂストン作業班

ブリヂストンの内職作業のほかに空き缶回収や古紙・ダンボール回収に取り組みます。利用者それぞれの熟練度もあがり、みんな見通しをもってしっかりと作業に取り組んでいます。

生活班

2年目の活動となりました。日常的に作業を継続することが難しい利用者に対して、安心して過ごすことができるようにゆとりをもった時間を設定して支援します。

(高橋好治)

2021年度 こぱん☆あらぐさの取り組み

今年度のこぱん☆あらぐさは8名（男2人 女6人）での活動です。新型コロナウイルスに負けないよう元気いっぱい店舗営業や販売活動に取り組みます。おかげさまで「こぱん」のパンはおいしいと言ってくださるお客様が増えてきています。それを励みにみんなは頑張っています。店舗へのご来店、お待ちしております。お声をかけてくださるとなおのこと嬉しいです。

営業日 月曜日から金曜日

営業時間 10:00～15:30

月に2回程度 「子ども食堂」のフードパントリー

新型コロナウイルスがおさまったら 「やぎさん一座の紙芝居」

【こぱんのみんなでお花見&記念写真】

3月下旬、こぱんのある富士見団地近くの公園でも桜がいい感じに咲きました。普段のこぱんはお店当番があるのでみんなで出かけることはなかなかできません。「みんなで桜を見に行きたいね」と話していたこの日は、お店のパンが早くに売り切れてしかも天気がとても良い日だったのでみんなでワイワイ出かけてきました。

あらぐさからこぱんの仕事を手伝いに来ていた人を含めて、2020年度はこの10人でパン作りをがんばりました。

昨年度は、パン作りのほか行事らしい行事は何もできなかったので全員集合のこの写真はみんなにとっても良い思い出になったと思います。

2021年度はみんなのこの笑顔でみなさまのご来店をお待ちしています。おいしいパンを作るぞ——！



(高橋好治)



ソーシャルディスタンスでお花見しました！

【菓子班&生活班】

3/26 に伊奈の無線山の桜並木を散歩してきました！快晴の天気にも満開の桜を見て「わあ〜すごいね！」と声にだしてしまうほど美しく、それぞれが季節を感じることができました。新型コロナウイルスの影響により飲食禁止となっていたので、近くの平塚公園に移動して大きめのレジャーシートに距離を取って座りました。平塚公園も満開の桜が綺麗に咲いていましたが、みんなはやはり‘花より団子‘、桜そっちのけでお団子をほおぼります！イベントなどの楽しみがない中で、みんなの楽しそうな顔を見ることができて嬉しかったです。（井上）



【リサイクル班】

3/31 に花の丘公園でお花見！…の予定だったのですが、コロナ禍ということでいつものようなお花見はできないとの事。なので満開の花の下、園内をぐるりとウォーキングをして楽しんだ後は、直ぐ近くにある第二クローバーハウスの駐車場を借りて、シフォンケーキとジュースで乾杯。ソーシャルディスタンスを意識しつつ、なかまたちの楽しみも確保しながらのお花見会となりました。でも皆さんはおいしいものを食べてニコリ。いつも通りの笑顔でした。（佐藤）

【ブリヂストン班】

3/30 に花の丘公園にて、満開の桜とチューリップのもとお花見ウォーキングをしました。お天気にも恵まれ心地良いお花見日和でしたが、男子ばかりのブリヂストン班では‘花よりウォーキング‘‘状態…。記念撮影のときには想い想いのポーズをとる皆さんでしたが、撮影が終わるとまた黙々とウォーキング。「ほら！桜吹雪！」と声をかけるとやっとう桜の木を見上げていました。限られた時間のなかでしたが、美しい景色はきっと皆さんの心で咲き続けていることと思います。（樋川）



【編集後記】

今年も大勢での花見ができないまま、桜もあつという間に咲いて、あつという間に散ってしまいましたね。来年こそは！と願いつついつもの日常に戻れるよう、引き続きもう少しの我慢と感染予防をしながら過ごしましょう。

新年度が始まり新しい環境での生活がスタートした方もいると思います。10年前、あらぐさに入職した日を懐かしく感じます。毎日あらぐさの仲間と過ごす1日1日を大切にしたい気持ちは変わらず持ち続けたいです。（村越）